

十一月のご案内

〒567-0012 茨木市東太田二丁目九一二一
 浄土真宗 本願寺派 西福寺
 TEL 075-333-5575 FAX 075-333-5575

澄んだ夜空、月は静かに、収穫終えた田んぼを柔らかな光で、包みこみます。皆様には如何お過ごしでしょうか。平成二十七年十一月のご案内を申し上げます。

◎人生講座はお休みです。各寺院の報恩講にお参り下さい。

- 安楽寺(太田) 10月24日 13時半 / 25日 13時半
 - 称名寺(総持寺) 10月24日 14時 / 25日 10時
 - 本照寺(富田) 11月1日 14時 / 2日 14時
 - 光明寺(総持寺) 11月9日 14時・19時
 - 万徳寺(氷室) 11月14日 14時・19時 / 15日 13時半
 - 常見寺(五百住) 11月20日 10時・13時半
 - 称念寺(高田) 11月21日 10時・13時半
 - 常称寺(総持寺) 11月27日 14時 / 28日 13時半
 - 顕証寺(八尾) 11月26日 / 27日 / 28日
- *万徳寺様では14日夜、御伝鈔(宗祖生涯の行蹟が記述された詞書)が拝読されます。

アソール・ワットへのみち

9〜15世紀にかけて、現在のカンボジアの領域を中心に強大な勢力を誇ったアンコール王朝は、世界遺産アンコール・ワットに代表される豪華華麗なヒンドゥー教、仏教の美術を各地に残しました。本展では、アンコール朝時代のカンボジア石造彫刻を中心に、タイ、ミャンマーの彫刻もあわせ、東南アジア史上に燦然と輝くその神秘的な造形の変遷をたどります。同時に、日本でもおなじみの様々なほとけたちや神々の姿をわかりやすく紹介します。

会期：2015年10月10日(土)〜12月20日(日)
 休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)
 開館時間：午前10時〜午後5時※最終入館受付は4時30分まで
 会場・問い合わせ先：龍谷ミュージアム

京都市下京区堀川通正面下る(西本願寺前) 電話075-351-2500

御親修報恩講

法要期間
 11月11日[水]〜11月16日[月] 御親修
 15日[土]速夜・16日[日] 日中
 13:30- 10:00-

先般、当山報恩講では多数ご参拝いただき誠に有難うございました。堂内では、毎座お同行の皆さまの唱える正信偈の声に満ち、ご講師の北畠先生からご法話をお聞かせいただき、法味あふれる2日間でした。

大阪本町、本願寺津村別院でも11月11日より報恩講が勤められます。日中法要は朝10時から、速夜法要は昼1時半からです。15日速夜、16日日中は、ご門主様御親修による法要となります。御堂筋の銀杏色づくこの季節、有縁の皆さま、どうぞご参拝ください。

なお、1階津村ホールでは12〜15日の間、泉仙の精進鉄鉢料理がお召し上がりいただけます。ご希望の方は11月3日までに代金(3500円)を添えて、西福寺までお申し込みください。

伝燈奉告法要団体参拝*平成29年4月28日

正信偈のススメ ⑤

◆普放無量無辺光 無碍無对光炎王
 清浄歡喜智慧光 不断難思無称光
 超日月光照塵刹 一切群生蒙光照

【意訳】十二のひかり放ちてはあまたの国を照します
 生きとし生くるものすべてこのみひかりのうちにあり

「普放無量無辺光〜超日月光」は、十二光仏のそれぞれの名前です。

①「無量光仏」：量ることのできないほどの光によって、過去・現在・未来の三世にわたって利益が等しくもたらされる。

②「無辺光仏」：十方世界の隅々まで際限なく照らしつくす。

③「無碍光仏」：山河大地・雲霧煙霞といった自然界のあらゆる事象に遮られることがなく、むさぼり・いかり・無知・おごり・たかぶりといった人間の愚かさにも妨げられない。曇鸞大師の讚阿弥陀仏偈に「光雲無碍如虚空」とあり、この徳によってあらゆる外的な障害に遮られることがない。また、善導大師の觀經疏定善義には「諸邪業繫無能碍者」とあり、この力によりすべての内的な障害にも遮られることがない。

④「無对光仏」：すべての菩薩が目指す悟りの境地が阿弥陀仏の悟りには及ばない。

⑤「炎王光仏」：光炎王仏ともいう。光明自在にしてこの上ない。『大経』下巻に「猶如火王 焼滅一切 煩惱薪故」とあるのは、この光の徳を讚嘆したものである。すぐれた火が生乾きの薪でさえも焼き尽くし何も残さないように、阿弥陀仏の光明は人間のどのような根深い煩惱をもことごとく消し去る。(つづく)

石川欣也先生の 法話のダイヤル0743-53-4488